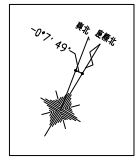
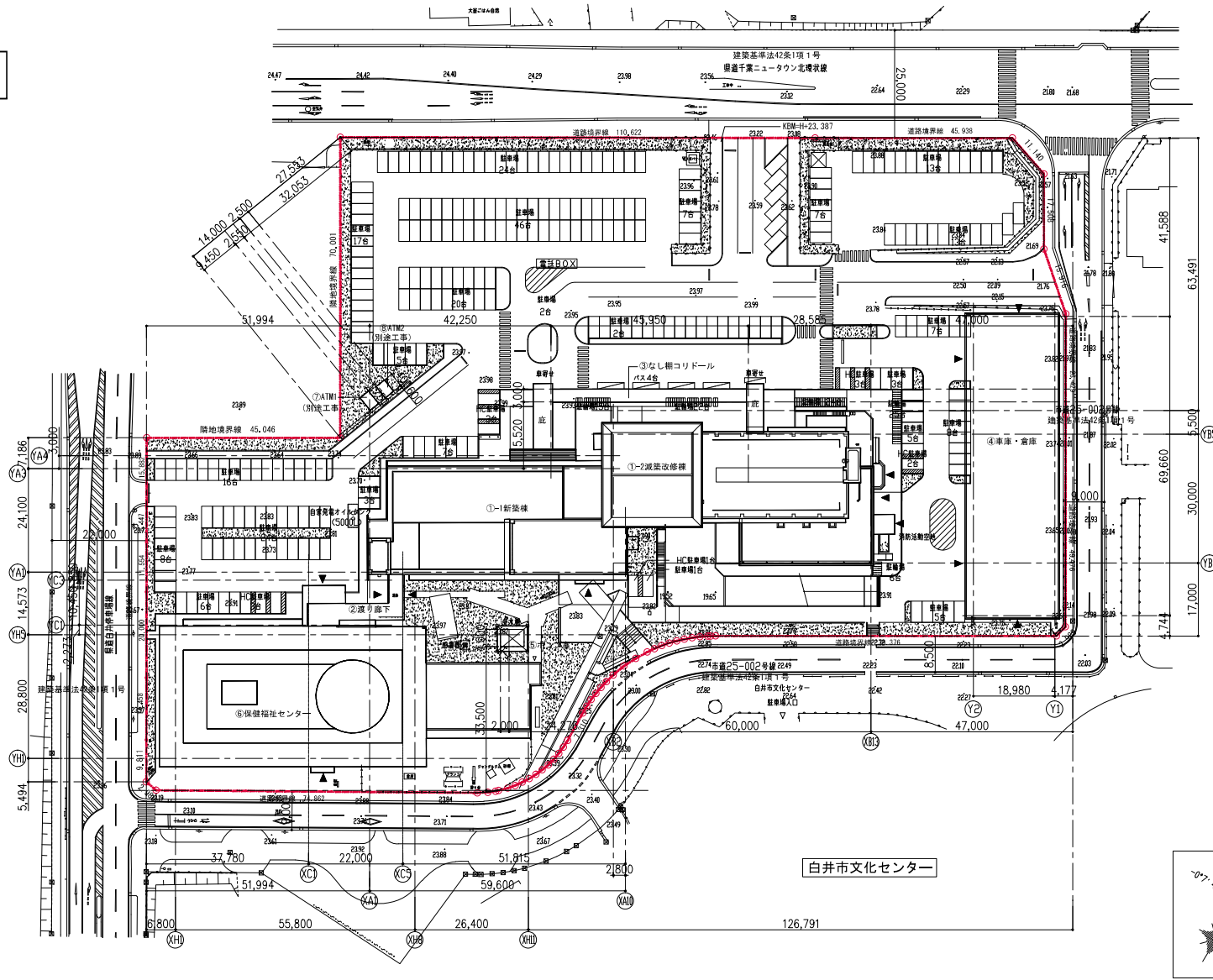


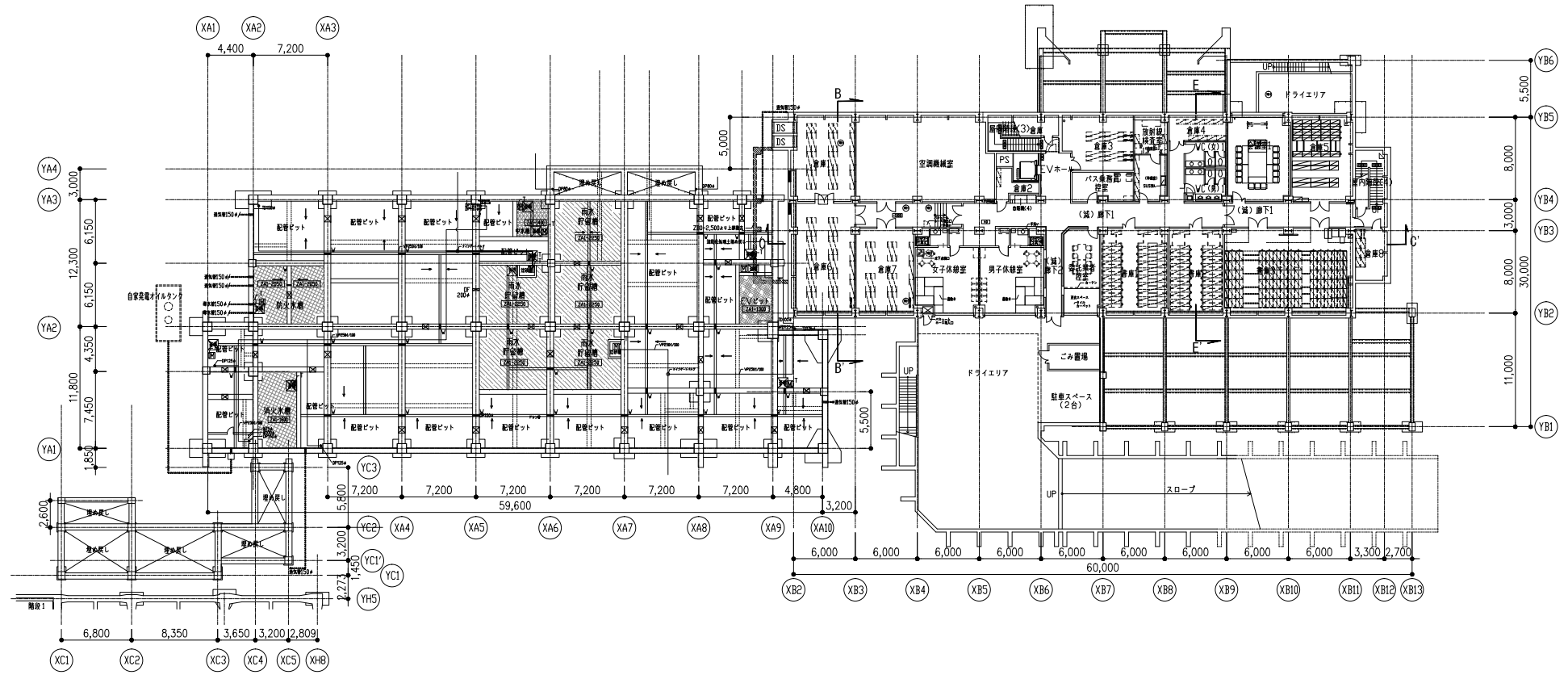
配置図



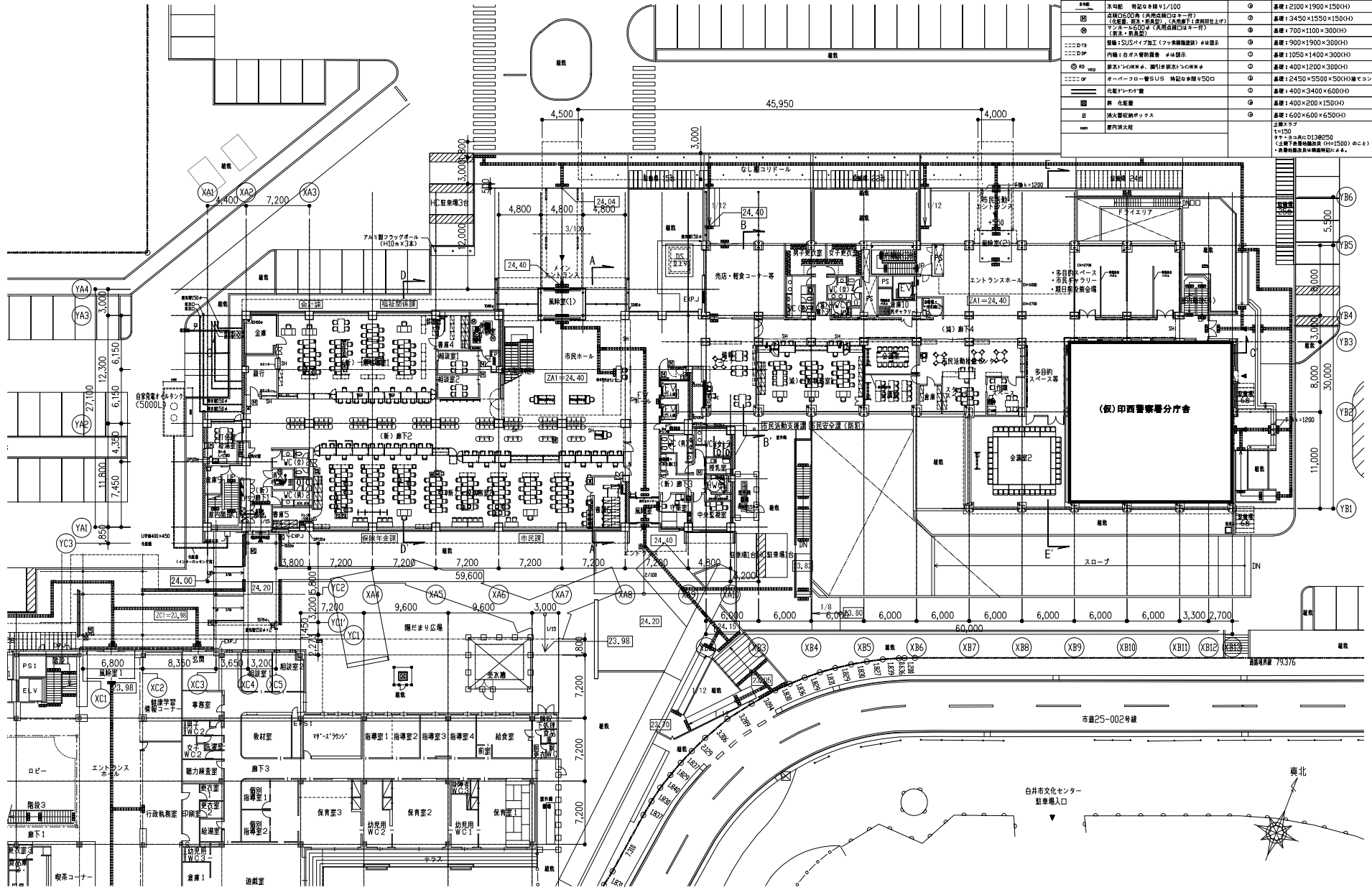
白井市文化センター

# 地階平面図

凡例		
IIISZ	計画に4m×4mの室内の高さを示す仕上りレベルを示す Z1=IFL=24.40とする。 (新築時、減築改修時)	IFL-2250より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
		IFL-1750より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
水栓記	特記なき限り1/100	IFL-1300より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
③	高さが500mm(洗面台開口は除く)で (水栓、洗面、洗濯機)の設備上を埋没仕上り マンホールの高さ(土台高さ)とする。	IFL-1400より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
④	排水・汚水	IFL-1800より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
⑤	給排水SUSパイプ加工(フラッシュ溶接塗装)を示す	IFL-1900より先物配/200 防水：自噴耐震建築物水B-2工法用等(壁、床) 見張り、壁面下のスラフは等質：誘致ポリスチレンフォーム25t
⑥	防火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す
⑦	オーバークローラ-管SUS 特記なき限り50口	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す
⑧	化粧プレート	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す
⑨	新 化粧蓋	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す
⑩	消火器収納ボックス	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す
⑪	屋外消火栓	●: 防水1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す ○: 耐火1.5時間耐火、耐火1.5時間の構造を示す



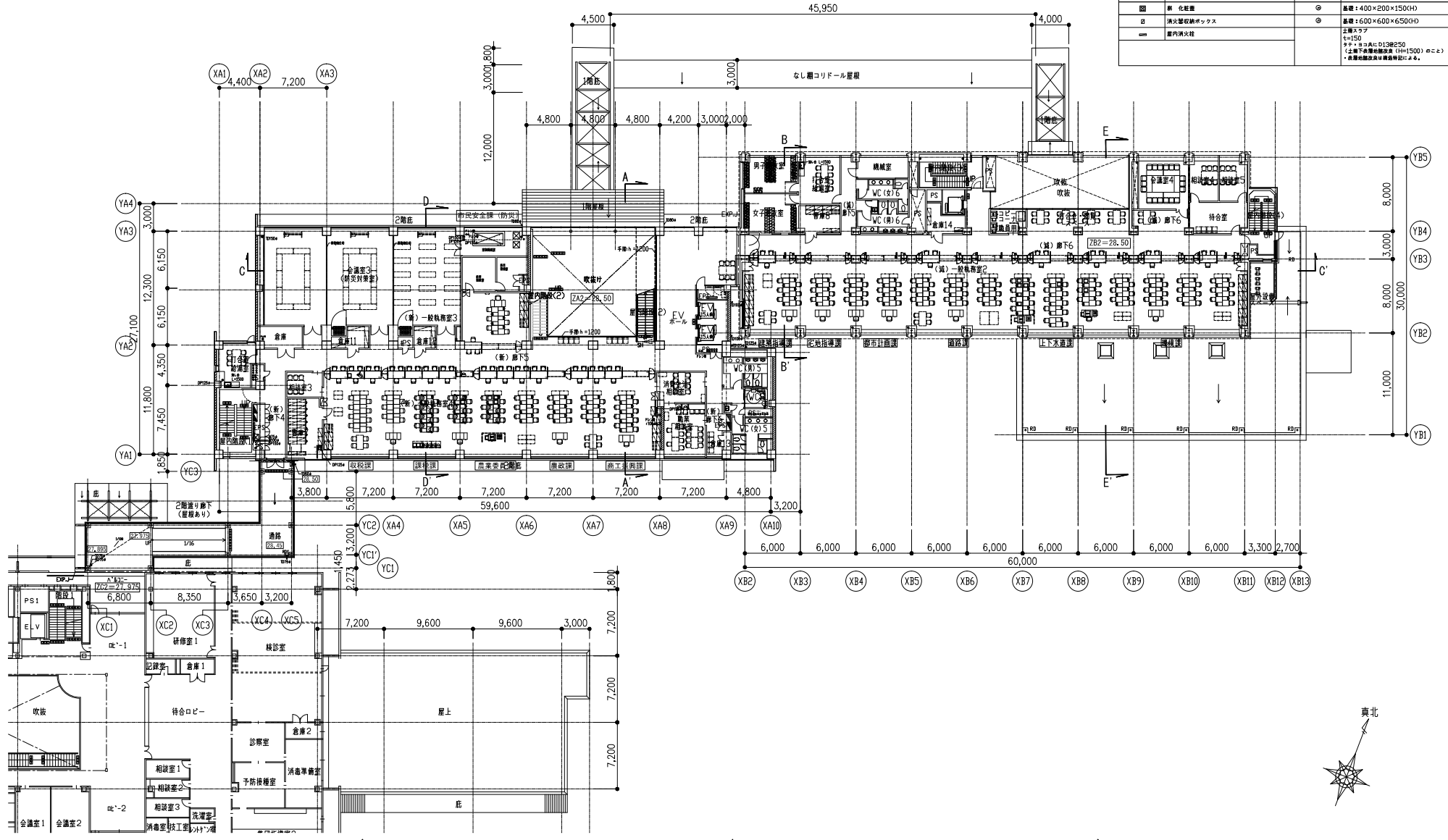
# 1階平面図



凡例	※基礎形状は特記なき限り、標準図による
① 計画(○)内) ※室内の高さ表示は上レベルを示す	◎ 基礎: 450×450×600(H)
Z1=1FL=24.40とする。	◎ 基礎: 300×1200×600(H)
(新築棟・増築改修棟)	◎ 基礎: 900×900×600(H)
基礎位置センター-Z1=23.98	◎ 基礎: 450×450×600(H)
本号館 特記なき限り1/100	◎ 基礎: 2100×1900×150(H)
本館口(500角) (東西両向き) (付)	◎ 基礎: 3450×1350×150(H)
(化粧鋼・鉄骨・鉄骨) (長門側下) (鉄骨柱上) (付)	◎ 基礎: 700×3100×300(H)
マニピュレータ(式両向き) (付)	◎ 基礎: 900×1900×300(H)
(新築・改修)	◎ 基礎: 1050×1400×300(H)
基礎: SUSパイ加工 (付) (新築改修) ※表示	◎ 基礎: 400×1200×300(H)
内縁: 自ガス管付露骨 ※表示	◎ 基礎: 2450×5500×50(H) (壁付コンクリート)
鋼スチール×鉄骨・鋼骨(新築) (付) ※表示	◎ 基礎: 400×3400×600(H)
オーバーフロー管SUS 特記なき限り50口	◎ 基礎: 400×200×150(H)
化粧スチール壁	◎ 基礎: 600×600×650(H)
耐火石膏	◎ 基礎: 400×200×150(H)
消火警報ボックス	◎ 基礎: 600×600×650(H)
室内消火栓	◎ 基礎: 2階スラブ E=150 F=300共にD138250 (土留付基礎埋込) (H=1500) (付) ※表示 ※基礎形状は特記なき限り、標準図による。

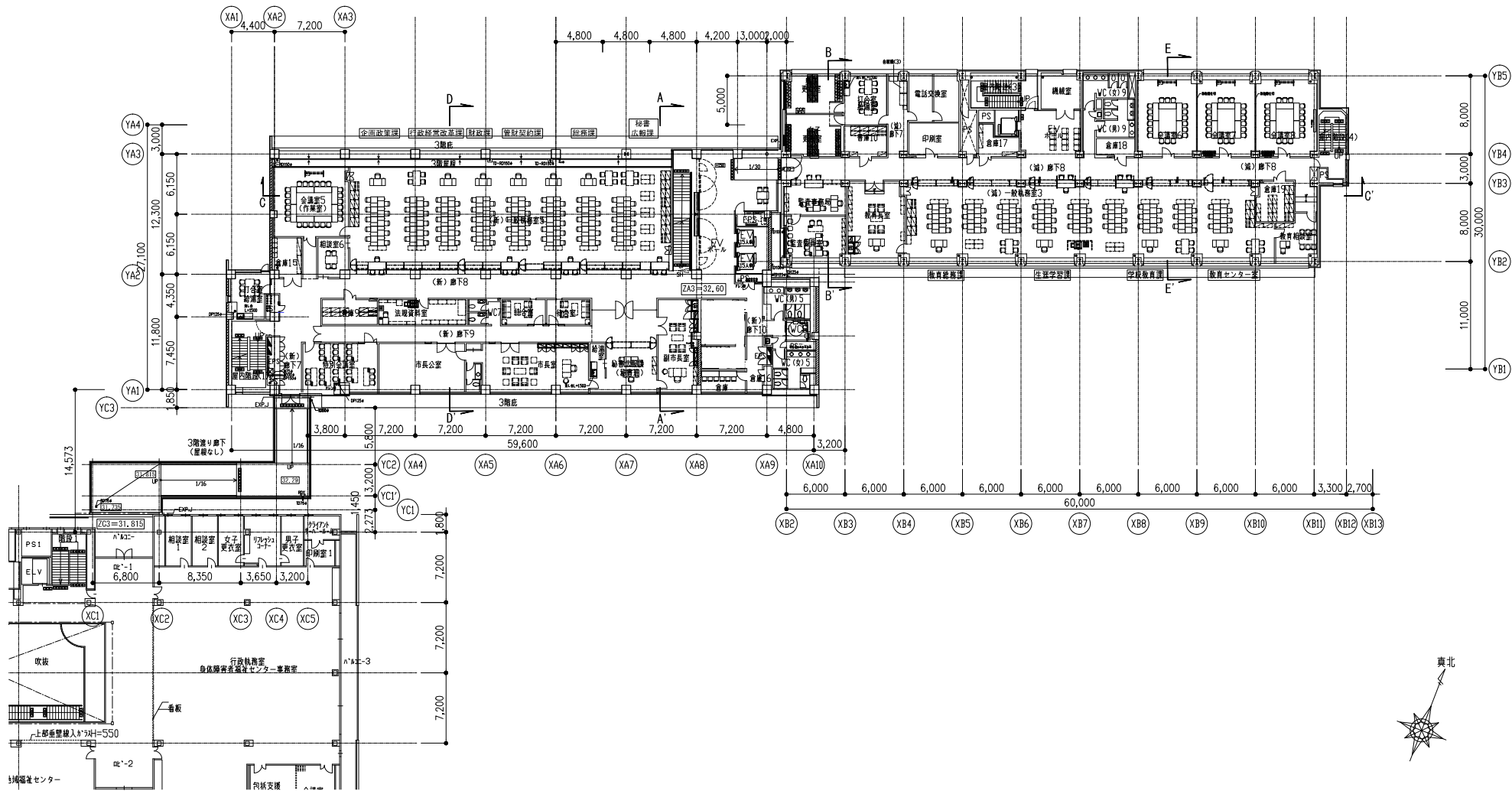
# 2階平面図

凡例	※基礎形状は特記を要し、構造図による
①	基礎形状は特記を要し、構造図による
②	基礎形状は特記を要し、構造図による
③	基礎形状は特記を要し、構造図による
④	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑤	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑥	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑦	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑧	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑨	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑩	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑪	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑫	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑬	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑭	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑮	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑯	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑰	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑱	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑲	基礎形状は特記を要し、構造図による
⑳	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉑	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉒	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉓	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉔	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉕	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉖	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉗	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉘	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉙	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉚	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉛	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉜	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉝	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉞	基礎形状は特記を要し、構造図による
㉟	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊱	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊲	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊳	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊴	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊵	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊶	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊷	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊸	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊹	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊺	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊻	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊼	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊽	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊾	基礎形状は特記を要し、構造図による
㊿	基礎形状は特記を要し、構造図による



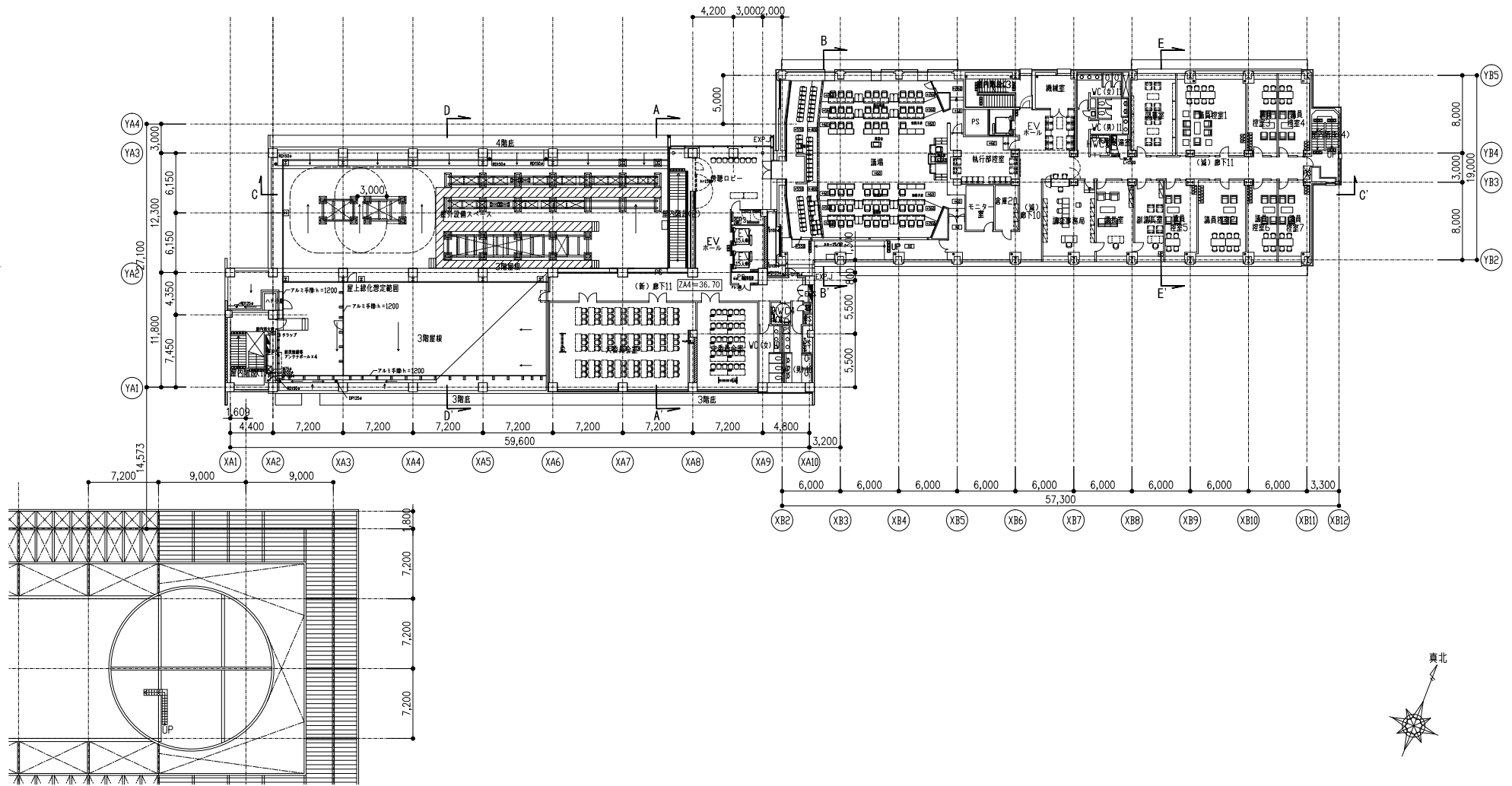
# 3階平面図

凡例		※基礎形状は特記なき限り、網格線による	
E120	計画バリエーション ※室内の高さ等は仕上レベルを示す	◎	基礎：450×450×600(H)
	Z1=1F.L=24.40とする。	◎	基礎：300×1200×600(H)
	(新築棟・建築改修棟)	◎	基礎：900×900×600(H)
	斜線指定センターZ1=23.98	◎	基礎：450×450×600(H)
水勾配	特記なき限り1/100	◎	基礎：2100×1900×150(H)
	床高1600以上(床面高1500以上) (吹張、防水、歩居等) ※吹張厚上は構造上仕様は上げ マンホール600φ(天用高径口はキー付) (雨天・排水記)	◎	基礎：3450×1550×150(H)
E210 DP	設備：SUSパイプ加工 (フラッシュ取付等) ※仕様指示	◎	基礎：700×1100×300(H)
	内蔵：自ガス等器具等 ※仕様指示	◎	基礎：900×1900×300(H)
E40	床材：SUSパイプ加工 ※仕様指示	◎	基礎：1050×1400×300(H)
	オーバーフロー管SUS ※仕様指示	◎	基礎：400×1200×300(H)
E330 DP	化粧フロア材	◎	基礎：2450×5500×50(H) 雑用コンクリート
	化粧フロア材	◎	基礎：400×3400×600(H)
固	耐火壁	◎	基礎：400×200×150(H)
固	防火設備付ボックス	◎	基礎：600×600×650(H)
E45	屋内消火栓	◎	基礎：2700×750×150
		◎	基礎：300×1500×150 (コア) ※基礎形状は仕様特記による。



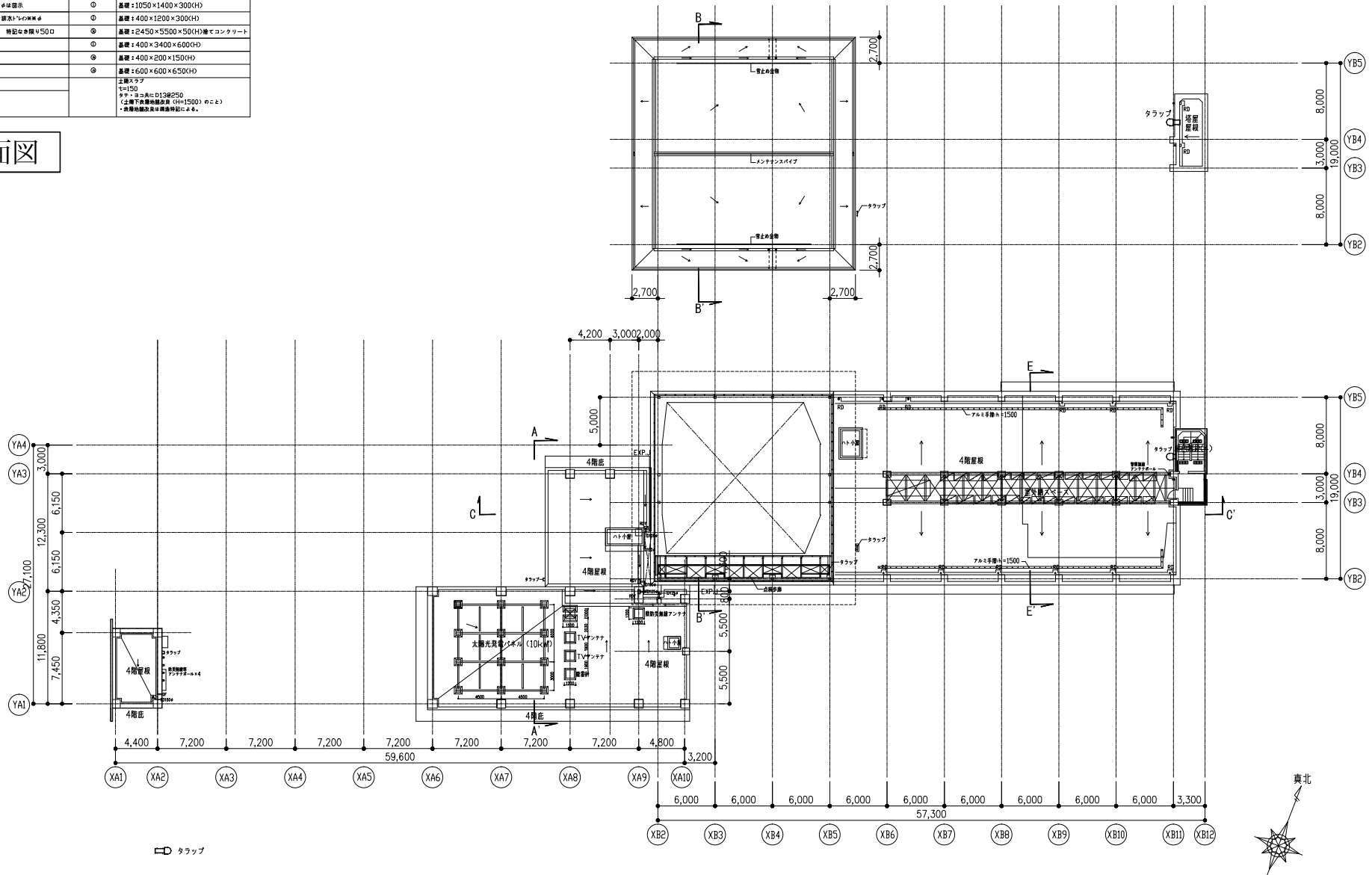
# 4階平面図

凡例		※基礎形状は特記なき限り、構造図による
[1.50]	計画ハ・尺寸	※室内の高さを表示は上レベルを表す
	Z1=FL=24.40とする。	
	(新築棟・既存改修棟)	
	棟間隙センターZ1=23.98	
基礎	水勾配	特記なき限り1/100
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
	基礎底面高	※基礎底面高は基礎底面高(基礎底面高)より100mm高くする
床	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
	床	特記なき限り150
柱	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
	柱	特記なき限り150
梁	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
	梁	特記なき限り150
壁	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
	壁	特記なき限り150
その他	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150
	その他	特記なき限り150



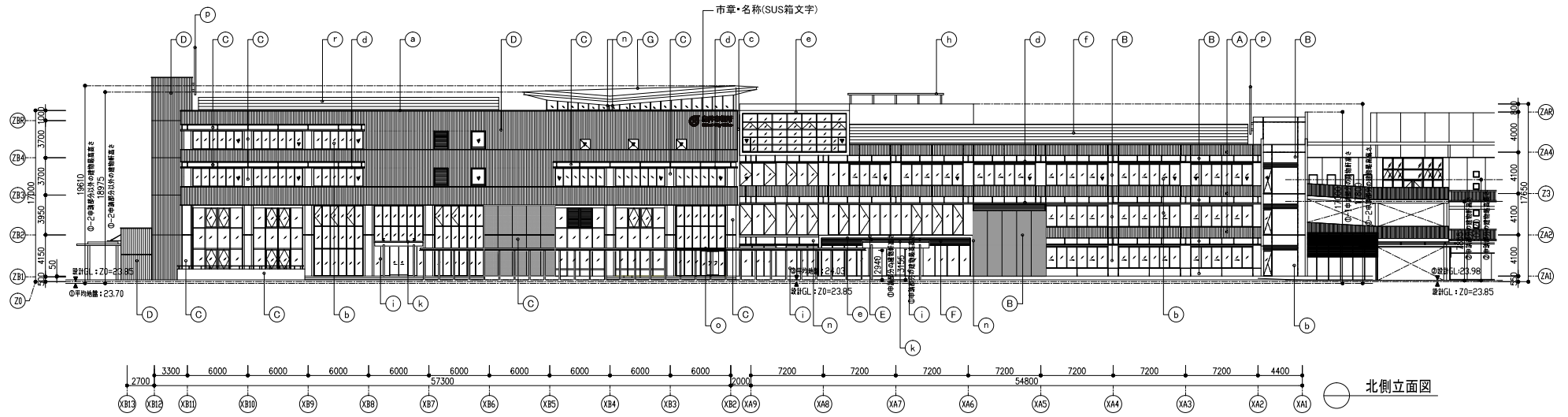
凡例	※基礎形状は特記なき限り、構造図による
1150	計画1階(1F) ※室内の高さを表した上層レベルを示す
Z1=1F.L=24.40 とする。	◎ 基礎：450×450×600(H)
(新築棟・増築改修棟)	◎ 基礎：300×1200×600(H)
基礎幅員センターZ1=23.98	◎ 基礎：900×900×600(H)
	◎ 基礎：450×450×600(H)
基礎	◎ 基礎：2100×1900×150(H)
点線CG-00等(高層高層口はキー付)	◎ 基礎：3450×1550×150(H)
(化炭素・耐火・防臭型) ※高層階下上層階(下層)付	◎ 基礎：700×1100×300(H)
(耐火・防臭型)	◎ 基礎：900×1900×300(H)
◎ R10	内縁：1050×1400×300(H)
◎ R20	内縁：400×1200×300(H)
◎ R30	内縁：2450×5500×50(H)除てコンクリート
◎ R40	オーバーフロー管SUS 特記なき限り50φ
◎ R50	化粧プレート付
◎ R60	新 化粧壁
◎ R70	耐火壁取付ボックス
◎ R80	室内消火栓
	上層スラブ 厚150 形状・コア共にD13R250 (土間下層階階層設置(H=1500)のとき) ※基礎幅員等々特記による。

R階平面図

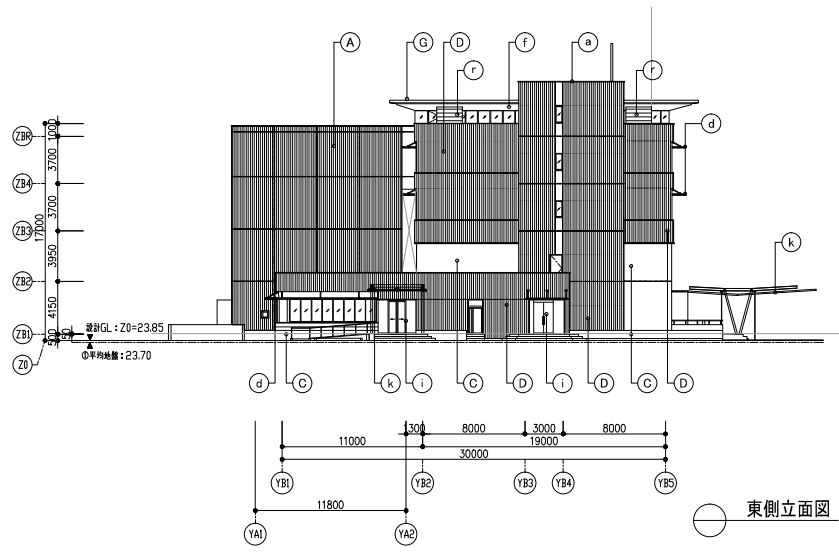


仕上凡例	① コンクリート打ち抜き補修(リブ付)の上フッ素樹脂塗装	② 既存半壊部補修工事の上、コンクリート打ち抜き補修	③ クラック部分エポキシ注入の上、 気密補修入りセルラガラスの上、フッ素樹脂塗装	④ a5-a6ハバロム断板	⑤ アルミハンドレル(フッ素樹脂塗付塗装)	⑥ アルミリブパネル(焼付塗装)	⑦ 屋根 金属屋根(カラーガルバリウム鋼板)	⑧	⑨ 押出成形セメント板(リブ付)フッ素樹脂塗装
付属物凡例	① アルミ笠木	② アルミサン(アルマイトシルバー塗装)	③ Ena(外壁 鉄可塑性エラストマー(フッ素、金属タイプ) (塗装 アルマイトシルバー塗装)	④ アルミ遮光	⑤ 見切材 アルミPLJN(フッ素樹脂塗付塗装)	⑥ 有孔板(溶融亜鉛メッキ)	⑦ 見切材 アルミPL(フッ素樹脂塗付塗装)※	⑧ 太陽光パネル	⑨ ステンレスサッシ(HL)
	⑩ なし縫コーラー(鋼材 溶融亜鉛メッキの上リソビ樹脂)	⑪ ハニカム板、メタリック焼付塗装	⑫	⑬ アルミリブ(フッ素樹脂塗付塗装)	⑭ SUS塗膜(フッ素樹脂塗付塗装)	⑮ アルミパネル庇	⑯ アンテナポール	⑰ 打継ぎ目地 誘発目地(シーリング)	⑱ 屋上フェンス(アルミ製)
	⑲	⑳							

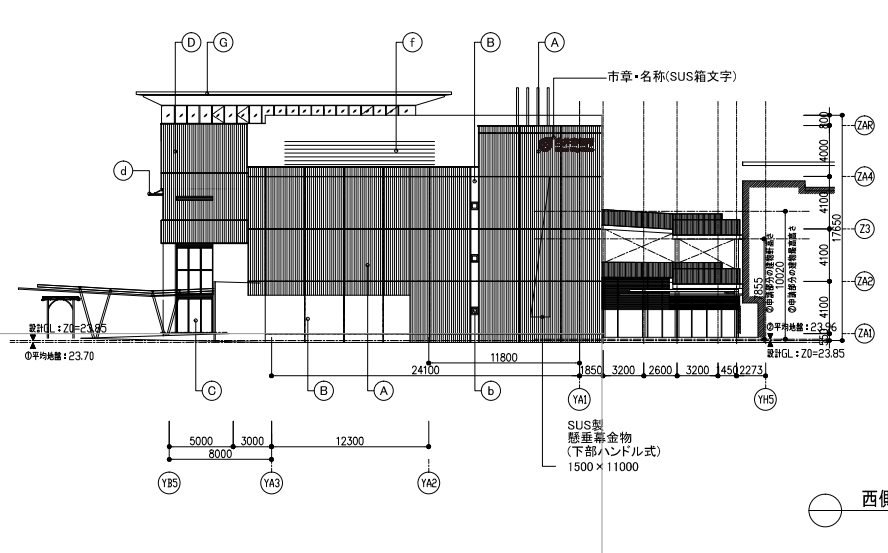
## 北側・東側・西側立面図



北側立面図



東側立面図



西側立面図



仕上凡例 ①	① コンクリート打ち放し補修(リブ付)の上フッ素樹脂塗装	② 既存半接合工法の上、コンクリート打ち放し補修 フラットの土、フッ素樹脂塗装	③ クラック修補工(环氧树脂注入の上、 遮水性樹脂入りモルタル工事の上、フッ素樹脂塗装 Epo(外壁・屋上)・樹脂エラストマー(フェ、金属タイプ) (塗料、アルマイトシルバー・銀消し)	④ a5-a6ハバロウ鋼板	⑤ アルミニウムペイント(フッ素樹脂塗料)	⑥ アルミリブパネル(黒付塗装)	⑦ 屋根 金属屋根(カラーガルバリウム鋼板)	⑧	⑨	⑩
付属物凡例 a	a アルミ窓	⑥ アルミサッシ(アルミサッシバー・銀消し)	⑦ Eps(外壁・屋上)・樹脂エラストマー(フェ、金属タイプ) (塗料、アルマイトシルバー・銀消し)	⑧ アルミ窓	⑨ 見切材・アルミPLJH(フッ素樹脂塗料)	⑩ 有孔鉄板(溶融亜鉛メッキ)	⑪ 見切材・アルミPL(フッ素樹脂塗料)	⑫	⑬	⑭
①	① 無し緑コーラー・鋼材 溶融亜鉛メッキの上リブ絶縁処理	② ハニカム底、メタリック黒付塗装	③	④ アルミ釘(フッ素樹脂塗料)	⑤ SUS塗料(フッ素樹脂塗料)	⑥ アルミパネル底	⑦	⑧	⑨	⑩
②		④ 打継ぎ目地 誘発目地 構造スリット								

## 南側立面図

